希望する再雇用提示を早急に

エルダー先提示　前年度の11月がルール

NRU
国労せんだい
No．2766
2019年9月10日
発行責任者 五十嵐敬
編集責任者 武田昌仙

会社が決めた制度

エルダー再雇用については、就労箇所や提示の時期を巡ってこの制度が始まって以来、度々問題が生じている。例えば、再雇用を希望する本人が、「希望していない職種や就労箇所」への提示、また提示のタイミングは、「退職前年度の11月」が会社の定めたルールだが、これも守られていない。退職前年度どころか、退職当月の直近一週間前という組合員もいた。地方本部は、会社自らが定めたルールをしっかり守るように取組みの強化を進めている。

仙台建築では

仙台建築技術センターでは、今年度に8人が退職を迎えることになっており、その内7人が再雇用を希望（国労は6人）。

国労組合員では、5月末に退職を迎える方には4月に提示がされ、また10月末退職の方には8月に提示があったものの、他の4人に対しては、具体的な話は一切ない。

目前の生活設計に大きく関わる重大なことであり、昨年末から「職場の有志」として数度にわたり、現場長に対し、「早期に具体的就労箇所を示すこと」と求めてきたが、現場長は、「提示の遅れについては申し訳ない」としつつも、「建築では本体エルダーはない」「提示時期も分からない」と社員の不安を煽る、不誠実な対応に終始している。

また、仙台建築分会では、「本体での再雇用はない」という現場長の発言も問題視している。

退職者の補充（新採）が少ない中で、本体エルダーを採用しないとは一体どうしたことなのか。

仙台建築技術センターでは、一昨年の「建築・土木の業務見直し」の要員削減合理化が実施され、17年4月時点で41人の人員が、19年3月で33人までに削減された。

今年度末には8人が退職することが確実であり、新規採用者を含めても28人程度と予想されている。

こうした要員削減により、工事の安全施工や増大する超過勤務により社員の健康状態を危惧する声も上がり、「有志」が、来年度以降の業務をどのように進めていくのかを質したが、「やり方を変えていく」と述べるだけで具体的な中身は示されないままである。

仙台建築分会では、今後も現場での話し合いと合わせ、支社にこの問題を質すべく団体交渉を申し込む予定だ。

提示の遅れと遠距離就労箇所の提示

また最近では、山形保線技術センターで、遠距離かつ希望する職種と違う就労箇所への提示が、事前に何の打診もなく行われた。

組合員のAさんは、保線職場で働くが、ここ10年程、肘・肩・腰に痛みを抱え、通常でも重いものを持つことは控えており、現場では列車見張りなどの作業に従事するなど配慮を受けていた。

そのためエルダー再雇用に際しても、第一建設などの保線業務ではなく、山形地区の清掃業務を希望しており、健康状態を考慮した職種の提示と遠距離通勤の職場は提示しないことを10年来一貫して主張、申告を行ってきた。

しかし提示されたのは、山形地区ではなく、宮城県名取市にある東洋機械という保線の関連会社であり、仙山線の始発でなければ始業時間に間に合わないという場所にある。

こうした状況の中、本人は会社に苦情申告し、また後日、直接提示先会社に出向き会社役員と話し合う中で、始業時刻や労働内容に対する配慮が示され、当面就労し通勤する方向に落ち着いた。

ただ、Aさんはエルダー再雇用における遠距離通勤を認めているわけではない。また提示の時期についても万一、提示箇所への就労をしない場合は年休の処理もあり、直近であれば残るため、提示は遅くても3ヶ月前と主張する。

更に「10年間も自己申告書と面談により、社員の健康状態や家庭状況を把握していながら、最終的には突然、本人の希望や意向を全て無視した就労条件を提示するのであれば、自己申告書は全く関係ないことになる」と憤る。

会社は本人希望を最優先に提示しろ

一昨年、郡山総合車両センターでは、5人の組合員に対し、新幹線総合車両センター内のJテックに提示があり、家庭の事情等により2人の組合員が提示を断り、退職を選択せざるを得なかった事象があった。

今回の山形保線技術センターのAさんの事例も、少し間違えば郡山と同様になった可能性もある。

また現在も、福島県の松川の自宅から山形駅の東北総合サービスに提示され、歯を食いしばって通勤している仲間もいる。

地方本部は、再雇用先の提示には、本人希望はもとより、退職を迎える方々に対し、会社自らが作ったルール通りの提示を順守することを強く求めると同時に、遠距離通勤の解消や労働条件の改善に向けて、今後も会社に働きかけを強めていく。【昌】

改憲発議を阻止！

参議院選挙

7月21日投開票で実施された参議院選挙では、与党である自公政権が、改選過半数を確保したものの、改憲勢力が目論む国会発議に必要な3分の2議席確保を阻止した。

今回の選挙では、全国32の一人区全てに野党共闘候補者を擁立し、結果は10勝22敗だった。

同じく全一人区で野党が統一候補を立てた前回16年の11議席には届かなかったが、野党共闘は一定の効果を示したといえる。

今選挙では、公約に自衛隊明記の改憲を掲げた自民党が改選66議席から57議席に減らし、非改選と合せて113議席となり、単独過半数を割り込んだ。

得票数（比例）も前回（16年）から約240万票減らし、全有権者に占める絶対得票数は16・7%、第2次安倍政権以降で最低となった。

自民と公明の議席を合わせても6減の71議席、維新10を含め改憲勢力は81議席で、改憲発議に必要な3分の2を阻止した。

この結果は、「期限ありきの性急な改憲の動きは賛成できない」という民意を示したものであり、次の総選挙に向けた大きな足掛かりとなるのではないか。【昌】

7月10日　第12回執行委員会・第3回闘争委員会
7月20日　地方工務協議会総会
7月26日　交運共済東日本事業本部運営委員会
7月30～31日　第88回全国大会

8月3日　地方運転協議会定期委員会
8月9日　第13回地方執行委員会
8月23～24日　第33回東日本本部大会
8月31日　第72回安プロ・第63回業務部長会議

ようこそ！国労へ

熱烈歓迎！

8月7日、国労仙台信通区分会は、仙台市内において8月1日付で国労加入した組合員の歓迎会を盛大に開催しました。

歓迎会では、地本五十嵐委員長から加入した組合員へ国労バッジ・国労手帳が贈られ、東日本本部武田総財・組織部長、宮城県支部秋山執行委員長が歓迎の挨拶を述べました。

また仙台駅の仲間や信通分会のＯＢなど、総勢30名以上が激励に駆けつけ終止和やかな雰囲気で進行しました。

そして、昨年に国労加入した石﨑さんと武田さんを始め、多くの皆さんが「熱烈歓迎のことば」を贈りました。

労働組合は必要

さらなる拡大を目指す信通分会の仲間

若い仲間が組織に

今回加入した若手組合員からは、「東労組の組織状況から組合未加入になりましたが、やはり労働組合が必要との思いから国労加入を決意しました。よろしくお願いします」と挨拶が述べられました。

日下分会長からは、「石﨑さん武田さんに続き、今年も拡大を実現した。さらに職場の仲間に話しかけ、国労加入を実現しよう」と訴え、次の仲間を増やすため更なる団結を誓い合いました。【昌】

組織強化・拡大に向けて

職場の仲間に手渡して

国労東日本本部は、組織拡大にむけて、昨年から呼び掛けティッシュの活用を提起しています。

呼び掛けティッシュは、その時々の状況を未加入者に知らせることや国労の取り組みを紹介するために、随時更新し、国労東日本のホームページに掲載しています。

今回の呼び掛けティッシュは、20代30代の皆さんが、自分達の顔写真を載せれば、国労には若い仲間が多くいる事が伝わり、加入しやすくなるのではないかという発案から作成されたものです。若手組合員の声に答えるために、呼び掛けティッシュの活用をお願いします。【幸】

※下記にチラシの一例を記載しました。状況に応じて変更しています。裏面には加入届も印刷しています。

加　入　届

会　社　名＿＿＿＿＿＿＿＿

職　場　名＿＿＿＿＿＿＿＿

職　　名＿＿＿＿＿＿＿＿

社員コード＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿　印

生年月日　　年　　月　　日

住　所＿＿＿＿＿＿＿＿

私は国鉄労働組合に加入します。

年　　月　　日

国鉄労働組合中央執行委員長　殿

社友会は誰のためにあるの？

昨年の3月以降、各職場で社友会が立ち上げられました。会社は、社友会は各職場で自主的に作られたものと話していますが、会費無料、社員の交流と親睦を図る、過半数代表選の機能的役割など、どこも同じ規約になっています。親睦と交流とは裏腹に、職場によっては組合加入者は入会できないという規約のところが多くあるようです。

管理者から言われて加入したけれど、「強制的な飲み会」などA労組と変わらないと、退会する社員も出てきています。

国労加入者の声

入社した時にはA労組に入れと言い、2年後にはA労組を辞めろと言う管理者は信頼できませんでした。会社が、働く人を守るための労働組合を否定するのもおかしいと感じていました。職場を良くする国労の取り組みを見て、自分で国労加入を決めました。
（プロ採用　3年目）

最初に駅に配属され、無理に加入させようとするA労組の対応に疑問を感じ、対応の良かった国労に加入しました。今は後輩の未加入者や新入社員に仕事を教える立場になり、国労でも頼りにされる事を誇りに仕事をしています。（プロ採用女性　5年目）

あなたの加入をお待ちしています

こんにちは国労です

国労は、ＪＲ、ＪＲグループ会社で働く仲間が集まった労働組合です。正社員に限らず契約社員、パート社員など誰でも加入できる労働組合です。

国労は、ＪＲ、ＪＲグループ全体の働く条件の向上を目指して会社と話し合いなどを行っています。

国労へ加入して、一緒に明るく楽しい職場を作りましょう！

国労東日本本部　東京都港区新橋5-15-5
http://www.e-nru.com/　TEL：03-5403-1660

私たちは国労を選びました！

労基法って何？ 36協定って何？ 組合って必要？
一緒に学習し、働きやすい職場を作りましょう！

退職のお知らせ

6月30日付

宍戸　康さん　仙台保線区（仙建仙台）
西条　利昭さん　小牛田保線区（施設エルダー）
橋本　守弘さん　郡総車体科（ＪＲＴＭ郡山）
佐藤　昭治さん　福島地区（テムズ郡山）
軽部　昇さん　小牛田運輸区（テクノ新庄）
柴田　敬明さん　山形連合（ＢＴ山形）
吉村　豪敏さん　仙総台車（ＪＲＴＭ新幹線）
牛澤　初雄さん　仙台保線区（仙建仙台）
鈴木　実さん　仙台電車区（車両エルダー）
山村　渉さん　新庄連合（退職）

7月31日付

石垣　雄二さん　仙総運転（テクノ新幹線）
原田　好太郎さん　山形連合（一建山形）
池田　直喜さん　新庄連合（退職）
横田　英才さん　仙総運転（車両エルダー）
山本　昇さん　郡山設備（施設エルダー）
熊坂　隆雄さん　仙台電力区（電気エルダー）
千葉　朗さん　仙総台車（東北ロジ宮城野）
柿崎　正勝さん　新庄連合（テクノ新庄）
水戸　栄一さん　仙台保線区（仙建仙台）
加賀谷　昌広さん　山形連合（運転士エルダー）

8月31日付

渡辺　慎一さん　郡山設備（電気エルダー）
大橋　康さん　仙台信通区（日本リーティック）
歌川　広さん　若松地区（仙建若松）
園辺　誠幸さん　山形連合（東洋機械）
大山　豊さん　仙総車体（退職）
本田　淳一さん　福島地区（営業エルダー）
歌川　弘さん　若松地区（テムズ若松）

エルダー・嘱託退職

6月

我妻　美津男さん　仙台電車区（テクノ東営業所）
伊藤　英雄さん　仙石線駅連合（リビット苦竹）
鈴木　浩次さん　仙台駅連合（リビット榴ヶ岡）
柴田　論さん　仙台駅連合（ＢＴ仙台）

8月

長谷川　賢一さん　原　敏教さん
佐藤　武志さん　仙総車体（ＪＲＴＭ新幹線）
上田　英二さん　仙総運転（テクノ新幹線）
折笠　浩二さん　郡山駅連合（テクノ郡山）

長い間お疲れ様でした